

ふるさと学習院、 親と子のコンサート等を事業に位置付け 令和2年度 通常総会

令和2年度NPO法人一関文化会議所通常総会は、4月28日に一関文化センター小ホールで開催され、2019年度事業報告、同一般会計収支決算、令和2年度事業計画、同一般会計収支予算、理事の選任、監事の選任の6件の議案を承認しました。

通常総会理事長挨拶



皆様、本日は御多用中にも拘らず、NPO法人一関文化会議所の令和2年度通常総会に御出席下さり、誠に有り難うございます。折角の春爛漫の浮き立つ心もどこへやら、新型コロナウイルス感染の騒ぎで国からは非常事態宣言が下され、

何かと自粛せざるを得ず大変な状況に陥っております。それなのに通常総会を実施するとはどういうことなのかと、疑問を抱かれたり抵抗を感じられたりという方もおいでだったのではないかと思います。

実は私ども役員や事務局でも頭を悩ませ協議した上で、一関市の担当者にも相談してご指導を仰ぎました。その結果、

- ・NPO法人は毎年1回必ず総会を開催することが義務付けられていること
- ・書面議決は当該法人定款に記載がある場合のみ可能
- ・オンライン上の会議の場合は自由に発言できる環境が保障されていることが条件
- ・「持ち回り決議」が制度上可能ではあるが推奨していない
- ・事業報告書の提出期限については、多少の遅れは認められる

以上のことから、4月28日(火)開催予定の通常総会については、3密を可能な限り避け、換気や人と人との距離に留意しつつ開催せざるを得ないと考えられるということでした。

そこで私どもは苦渋の決断を下し、密閉、密集、

密接の3密を避け、効率良く短時間の総会を目指して開催致します。

本日の議事は

- ・2019年度の事業報告と収支決算報告
- ・令和2年度の事業計画案と収支予算案
- ・理事の選任と監事の選任について

以上について御審議をお願い致します。こういう不安ばかりの折だからこそ、市民の皆さまの心を潤す事業の推進は非常に大切だと考えております。

尚、各事業につきましては、今後の状況次第で止むなく延期とか中止になることも考えられますので、皆様には特段のご理解とご協力をお願い申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。



総会で挨拶する内田理事長

議案の内容

議案第1号 2019年度事業報告

- ◆一関ふるさと学習院事業
 - ・4回講座 延べ参加人数 134名
 - ・講座集録「第六編」発行

◆顕彰事業

- ・一関文化賞表彰式 (令和元年11月7日(木))
会場: ホテルサンルート一関

一関文化賞

大畑 孝 夫 様
千葉 貞 子 様

中学2年生に新垣勉コンサートを贈る会 様
ホッパの会 様

◆子ども文化振興事業

- ・東大生出前科学授業
 厳美中1～3年生 79名、大原中1～3年生 67名
 興田中1・3年生 40名

◆研修・視察事業

- ・みちのくに華開いた安土・桃山文化の探求
 瑞巖寺、大崎八幡宮、仙台市博物館 52名参加

◆会報事業

- ・会報32号、33号の発行

議案第2号 2019年度一般会計収支決算報告

議案第3号 令和2年度事業計画

◆事業の概要

- (1) 芸術文化、教育に関する事業
 - ・文化・教育振興のための講座等の開設
 - ・子どもの文化振興に関する事業
- (2) 顕彰事業
- (3) 文化、芸術、生涯学習の研修・視察事業
- (4) 文化団体等の育成支援
 - ・文化活動への支援
 - ・民俗芸能保存・伝承活動の支援
 - ・郷土文化史の掘り起こし
 - ・特色ある地域づくり活動への支援

議案第4号 令和2年度一般会計収支予算

議案第5号 理事の選任

- ◆任期満了に伴い理事21人を選任

議案第6号 監事の選任

- ◆任期満了に伴い監事2人を選任



令和2年度通常総会

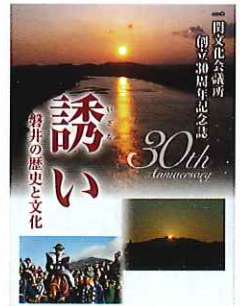
新たに選任された役員・理事

(令和2・3年度)

理事長	内田 正好	奨励委員会	委員長	只野 弘三
副理事長	伊藤 勝義		副委員長	阿部 了子
専務理事	熊澤 厚子		委員	小岩 邦弘
専務理事兼事務局長	鈴木 悦朗		委員	千田 良一
事業委員会	委員長	畠山 篤雄	委員	橋本 欽哉
	副委員長	石川喜代子	委員長	佐藤 健三
	委員	東 資子	副委員長	伊藤 福子
	委員	阿部 儀信	委員	菅原 淳一
総務委員会	委員	小野寺 廣	委員	村上喜久恵
	委員長	安東 正利	監事	山田 共子
	副委員長	大河原節子	監事	佐藤 一十
	委員	佐藤 武生	事務局	阿部 静香

「誘い～磐井の歴史と文化」に うれしい反響

昨年度、市内全中学生に寄贈した創立30周年記念誌「誘い～磐井の歴史と文化」を読んだ中学三年生（現在は高校生）の声を紹介します。



改めて理解を深めた北上川のこと

川崎町 佐藤 真

この間学校で、NPO法人一関文化会議所で発刊した「誘い～磐井の歴史と文化」という本を全校生徒がいただきました。

僕は中学校三年生なのでいつもテストのことが気にかかり、この本をすぐ読み切るといってもいいかもしれません。けれども、地元を流れている北上川について書かれているページに目をひかれて、まずそこを読みました。

僕が今まで川に関して思っていたことは、身近で楽しいという程度のことでした。でもこの本を読んで、いろいろと分かったことがあります。北上川は流路

ランキングや流域面積ランキングで、全国でも上位だったのです。僕はいつも目にしている身近な川なので、かえって気づかないでいました。なんと、北上川は大河で、僕の住む川崎町はその昔、舟運で栄えた川の港だったのです。北上川の大きさやその歴史を学ぶことができました。

そして北上川の源流について、「ゆはずの泉」の「ゆはず」という言葉が、実は弓の先端だという話は非常に興味深かったです。その伝説が平安時代から言い伝えられていることにびっくりさせられました。

とても大事なことがいろいろわかって、たくさん勉強になりました。僕の住む地域の歴史や文化のことをさらに学ぶために、受験がすんだら改めてじっくりとこの本を読もうと思います。

令和2年度 一関ふるさと学習院

平泉研究最前線2020

～平泉文化最新情報を学ぶ～

事業委員会 委員長 畠山 篤雄

新市10周年を機に「一関地方の歴史と文化を見つめる」ことを大きなテーマに掲げ、新市域を俯瞰し、様々な角度、視点から各年度の講座内容を企画立案して、ふるさと学習院を実施しています。

今年度は、2021年に平泉の文化遺産が世界遺産登録10周年を迎えるにあたり、平泉についてその前史と関わる横手地域や江刺地域の歴史文化、また、平泉時代の東北・北海道についても思いを巡らせたいと企画いたしました。

第1回目の講座は、後三年合戦の舞台である横手市における近年の発掘調査の成果や新知見を織り交ぜ平泉へと続く歴史を学び、第2回目は、遺跡や遺物から見えてくる奥州藤原氏時代の東北・北海道の様子を学びます。

第4回目は、藤原清衡と関わりの深い江刺を中心とした歴史文化、北上川流域の経塚について学びます。

平泉の文化遺産 世界遺産登録10周年に向けて
平泉研究最前線 2020 ～平泉文化最新情報を学ぶ～

2021年、平泉の文化遺産は世界遺産登録10周年を迎えます。本年度は、世界文化遺産に登録されて10周年を迎える平泉について、近年の発掘調査の成果や新知見を織り交ぜ学びます。阿蘇地域から視点を取り上げ、北海道東北の雄物川流域の12世紀の世界の最新情報を学びます。また、藤原清衡と関わりの深い江刺を中心とした歴史文化、北上川流域の経塚についても学びます。

開 講 計 画

回	開催日時		会場
	内	容	
1	6月24日(水)	14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	横手市歴史的風致と前九年・後三年合戦 横手市は秋田県内陸南部に位置し、東を奥羽山脈、西を出羽山脈に囲まれた横手盆地の中央に位置します。平坦な盆地内には多くの河川が貫流し、肥沃な土壌より国内有数の穀倉地帯が形成されています。古代は前九年・後三年合戦、中世以降は横手城と城下町を中心として、街道の結節点には増田などの在郷町が形成されてきました。これらを概観した後、前九年合戦・後三年合戦について、横手市から見た視点でお話しします。		
2	7月28日(火)	14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	遺跡からみた奥州藤原氏の世界 記録からは、東北・北海道に君臨したという奥州藤原氏だが、その実体として遺跡からはどのように見えるかを、遺跡や遺物から解き明かします。		
3	9月17日(木)	8:00～17:00 (予定) (現地探訪)	集合場所 一関市総合体育館(ユードーム) 見学予定地 ・後三年合戦金沢資料館 ・伝統的建造物群保存地区 横手市増田 他
	雄物川流域の歴史と文化を訪ねる 平泉の前史の世界 安倍・清原氏の地で歴史を体感します。また、蔵の町増田町で今に生きる蔵等の伝統的建造物群を楽しみます。		
4	10月28日(水)	14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	岩手県内の平泉文化 身近にある平泉文化に注目しよう！		
			えさし郷土文化館 館長 相原 康二 氏

令和2年度 子ども委員会事業

子ども探検隊、親と子のコンサートを計画



親と子のコンサート（平成29年度）

子ども委員会 委員長 佐藤 健三

今年度の子ども委員会事業は、3月の春休みに合わせ、地域の歴史を現地で学ぶ子ども探検隊と親子で音楽に親しめるコンサートを計画しています。

また、どの学校でも好評で8月に計画していた東大生出前科学授業は、新型コロナウイルスの影響から実施が難しい状況で残念ながら中止いたします。

令和2年度 研修・視察事業

鉾山が遺した秋田の近代化産業遺産に学ぶ



小坂町 康楽館

総務委員会 委員長 安東 正利

明治の一時期、日本一の銀生産高を誇った小坂鉾山によって遺された近代化産業遺産である、旧小坂鉾山事務所、芝居小屋康楽館を訪ね、日本の近代化を支えた鉾山の歴史と今も地域資源として利活用されている施設について学ぶ計画です。

6月に実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響から、実施について改めて検討します。

文化会議所入会のご案内

NPO法人一関文化会議所に入会しませんか。一関市内に在住する個人、市内に事業所を置いている団体を募集しています。会員には数々の特典があります。

- 入会の特典
- 1 一関ふるさと学習院 講座集録
 - 2 一関文化会議所創立30周年記念誌「誘い～磐井の歴史と文化」
 - 3 一関文化会議所創立30周年記念誌「ふるさと創生三十年史」

など文化会議所発刊図書等の進呈のほか、研修・視察事業実施時に一般募集より優先して参加の案内と参加費の補助、「一関ふるさと学習院」講座の無料聴講などがあります。年会費は個人(一般)3,000円・(賛助)2,000円、団体10,000円。

資料等の詳細は事務局に問合せ下さい。会員の皆様もぜひお誘い下さい。

◇入会の申し込み・問い合わせ NPO法人一関文化会議所

〒021-0884 一関市大手町2-16 一関文化センター内

電話・FAX 0191-32-4333 (月～金曜日 9:00～17:00)

NPO法人 一関文化会議所
会員入会のご案内

共に豊かな文化が実感出来る
地域づくりを目指して

研修・視察事業

「一関ふるさと学習院」
秋心亭、寛六義経展覧

研修事業
「一関文化史・歴史展」の開催

（東大生出前科学授業）